



# LINK10 / LINK20

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみが発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。



### 警告

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万が一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの下の重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおびや音がする場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- 水没させない。故障の原因になります。
- 本機の内部に水などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機の下など）に設置しない。キャビネットや内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用し接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。



### 注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。
- 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
- 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 薬物厳禁 ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装を洗わない。また、塩素系漂白剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

### Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- ・ 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

#### △ 注意

- ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

#### 安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

#### ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

#### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解 / 改造すること。
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

#### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

### 電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解 / 改造すること
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

- 次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、音が途切れて通常の使用ができなくなることがあります。
- ・ 2.4GHz用周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズのいることがあります。

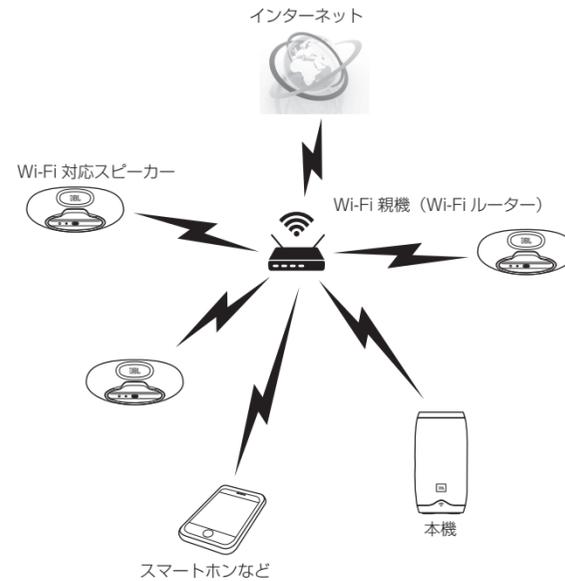
### 本機をご利用いただくためのWi-Fi環境

本機のスマートスピーカーとしての機能をお楽しみいただくため、以下のようなWi-Fi環境において本機をお使いください。図中、「Wi-Fi対応スピーカー」は、適宜その他のWi-Fi対応機器（照明器具など各種のWi-Fi対応家電）に置き換えてご覧ください。

※ Wi-Fi対応スピーカーは、Chromecast内蔵のものが必要です。

#### ▶ Wi-Fiルーターを利用した屋内Wi-Fi環境

屋内用の据え置き型Wi-FiルーターをWi-Fi親機として利用します。



#### ▶ モバイルWi-Fiルーターを利用した屋内 / 屋外Wi-Fi環境

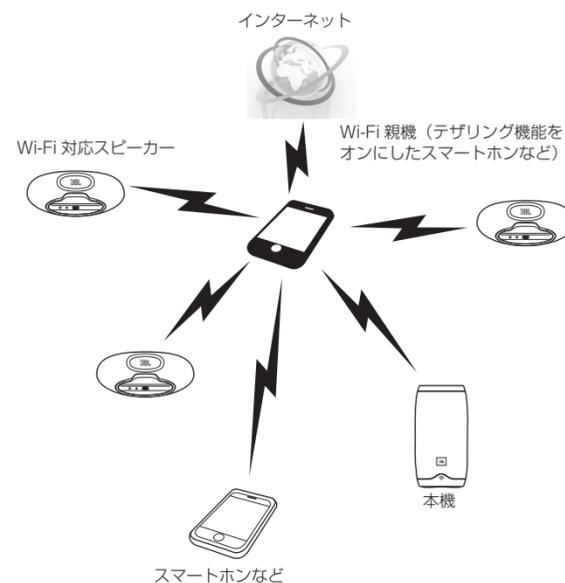
屋内外で使用できるモバイルWi-FiルーターをWi-Fi親機として利用します。



#### ▶ スマートホンなどのデザリング機能を利用したWi-Fi環境

デザリング機能を持ったスマートフォンなどをWi-Fi親機として利用します。

本機のWi-Fi接続のために、もう1台のスマートフォンなどにGoogle Homeアプリをインストールして設定する必要があります。



#### Wi-Fi環境を設定するには

Wi-Fi環境の設定のしかたについては、「Wi-Fi環境を整える」をご覧ください。なお、Google Homeアプリを使ってWi-Fi親機と接続する手順を動画で紹介するサイトが用意されていますので、ご利用ください。



[https://www.harman-japan.co.jp/smartspeaker/jbl\\_link](https://www.harman-japan.co.jp/smartspeaker/jbl_link)

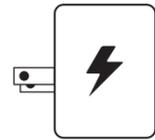
## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

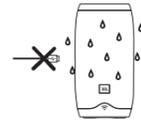
- USB ケーブル (マイクロ USB ⇄ USB)



- USB 対応 AC アダプタ (LINK20 のみ)



## ▶ 本機の防水性能について



本製品は、防水規格 IPX7 相当の仕様となっています。一時的に一定水圧の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」です。  
※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。  
※ 本機に付属の USB ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、USB ケーブルを接続して使用しないでください。  
※ シリコンのカバーをしっかりと閉めてご使用ください。  
※ 海水や温泉、入浴剤など、水道水以外の液体がかからないようご使用ください。

万一、水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。  
お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。

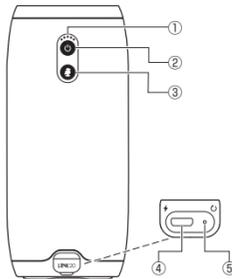
## 各部の名称

### ▶ 前面



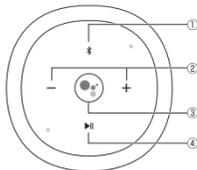
- ① ボタン面
- ② マイク (2 か所)
- ③ ステータス LED  
Google アシスタントが発話中など、本機がアクティブな状態のときに点滅します。
- ④ Wi-Fi インジケータ (📶)

### ▶ 背面



- ① バッテリーインジケータ
  - ② 電源ボタン (⏻)
  - ③ マイクミュートボタン (🔇)  
マイクをミュートしたりミュートを解除するときに押します。  
10 秒以上長押しすると、本機をリセットすることができます。
  - ④ USB コネクタ
  - ⑤ リスタートボタン
- ※ ④、⑤の使用時は、防水カバーを開けてください。使用しないときは必ずカバーを閉じてください。

### ▶ 上面



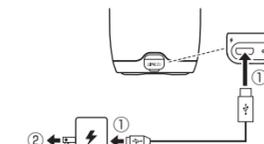
- ① Bluetooth ボタン (📶)
- ② 音量+ / - ボタン
- ③ Google アシスタントボタン (🗣️)  
押すと Google アシスタントが起動します。本機に向かって「OK Google」と発話した場合と同じ結果になります。
- ④ 再生・一時停止ボタン (▶||)

## 充電する

付属の USB ケーブルで USB 対応 AC アダプタまたは PC から充電します。LINK20 は、付属の AC アダプタをお使いください。

充電時間は約 4 時間\* (LINK10) / 約 4.5 時間\* (LINK20) です。  
※ 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① USB ケーブルを本機の USB 端子と AC アダプタの USB 端子に接続する。
- ② AC アダプタを電源コンセントに接続する。



充電中は本機の電源ボタン (⏻) が点灯し、充電が進むにつれてバッテリーインジケータが左から順次点灯していきます。満充電になるとすべてのインジケータが消灯します。充電が完了したら、USB ケーブルを本機からはずしてください。

### 内蔵電池残量について

本機の電源を入れたときに点灯するバッテリーインジケータの数で電池残量を示します。しばらくすると、バッテリーインジケータはすべて消灯します。

## Wi-Fi 環境を整える

Google Home アプリを使って Wi-Fi 親機と接続する手順を動画で紹介するサイトが用意されていますので、ご利用ください。



[https://www.harman-japan.co.jp/smartspeaker/jbl\\_link](https://www.harman-japan.co.jp/smartspeaker/jbl_link)

ここでは、本機を Wi-Fi 親機と Wi-Fi 接続するための操作のしかたを説明します。

そのために、スマートホンなどのデバイス\* (以下デバイスと表記) に Google Home アプリをインストールし、Google Home アプリを操作して本機を Wi-Fi 親機と接続します。

※ デバイスには、あらかじめ Google アカウントの取得が必要です。

### ご注意

必ず本機を Wi-Fi 親機の電波到達範囲内で、Wi-Fi 電波が非常に強いところに設置してください。

### ▶ Google Home アプリをインストールする

お使いのデバイスのブラウザで「Google Home」を検索してダウンロード・インストールします。Google Home アプリのインストールが終了しても、まだ起動はしないでください。

### ▶ Wi-Fi 接続する

以下の手順は、デバイスが iPhone の場合の一例です。

- ① デバイスの Wi-Fi と Bluetooth を「オン」にします。  
Bluetooth を「オン」にしたときの画面例：  

- ② 本機の電源を入れます。  
そのまましばらくお待ちください。Google アシスタントが、Google Home アプリをダウンロードするよう促すメッセージを発話します。
- ③ App Store から、Google Home アプリを検索してインストールします。  
すでにインストール済みの場合は次の手順に進んでください。
- ④ Google Home アプリを起動します。  
デバイスと同一の Wi-Fi ネットワーク内に本機が見つかった、「1 台のデバイスが見つかりました」と表示されます。

- ⑤ 「セットアップ」をタップします。  
本機からテスト音が聞こえ、「音は聞こえましたか」と表示されます。
- ⑥ 「はい」をタップします。
- ⑦ 本機の間所を指定し、「次へ」をタップします。
- ⑧ 操作中のデバイスと同じネットワークを選択します。  
暗号化キーの入力が必要な場合は、暗号化キーを入力します。



Wi-Fi 接続が完了するまでしばらくお待ちください。

「接続しました」と表示されたら、Google Home アプリの操作を続け、Google アシスタントにログインして画面の指示にしたがって必要な設定を行います。

「Google アシスタントの設定」画面で「次へ」をタップしてください。

- ⑨ あなたの声を登録します。  
画面の指示にしたがって、「OK Google」「ねえ Google」「OK Google」「ねえ Google」と発話してください。  
「音声認識の完了」と表示されたら「次へ」をタップします。
- ⑩ 住所を入力し、「次へ」をタップします。  
天気や交通などの情報を利用する場合に、位置情報が必要になります。
- ⑪ Chromecast built-in に対応したデジタル音楽配信サービス\*を利用するには、そのサービスをリンクします。  
サービス名の右の「+」をタップし、「次へ」をタップします。
- ⑫ 画面表示にしたがって「次へ」や「続行」などをタップして操作を進めます。  
※ Chromecast built-in 対応サービスのひとつに Spotify があります。本機で Spotify の再生音を楽しむには、「Spotify Connect で音楽を聴く」を参照してください。

### ▶ その他の機器を Wi-Fi 接続する

Wi-Fi 対応スピーカーや Wi-Fi 対応家電など、本機のスマートスピーカー機能で制御したい機器の Wi-Fi 接続のしかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

## Spotify Connect で音楽を聴く

Spotify には、Spotify Connect 機能があり、この機能を使って本機で Spotify の再生音を聴くことができます。

Spotify Connect 機能を使用するには Spotify Premium (有料) のアカウントが必要です。

まず Spotify のアカウントを作成し、続いて Spotify Premium にアップグレードしてください。

詳しくは Spotify のウェブサイトをご覧ください。

### ▶ Spotify Connect を使う

「Wi-Fi 環境を整える」の手順実行後、Wi-Fi 接続が完了し、デバイスの再生音を本機で聴くことができる状態になっていることを確認し、以下のように操作します。(以下に示す画面は一例です。)

- ① デバイスにインストールした Spotify Premium で音楽を再生します。
- ② 「接続可能なデバイス」をタップします。



- ③ 使用可能なデバイス (キャスト先) を選択する画面が表示されたら、本機 (LINK10 / LINK20) を選択します。

## Bluetooth 接続で使用する

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

### ▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① 本機の電源を入れます。
- ② 電子音が鳴るまで Bluetooth ボタン (⌘) を長押しします。ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (⌘) が点滅します。
- ③ iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にします。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ④ 機器の一覧から本機を選択します。デバイスに「接続済み」と表示され、本機で電子音が鳴るとペアリングが完了します。ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth ボタンが点灯します。



### ▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 本機の電源を入れます。
- ② 電子音が鳴るまで Bluetooth ボタン (⌘) を長押しします。ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (⌘) が点滅します。
- ③ 相手側機器をペアリング設定状態にします。接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。

Bluetooth ボタンが点灯すると、ペアリングは完了です。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

### ▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オフ」にします。

その他の機器で解除する

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

## トラブルシューティング

症状	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	Wi-Fi 環境に接続されているか、または Bluetooth 接続されているかご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
Google アシスタントを利用できない。	Wi-Fi 親機の AP アイソレーションがオフになっていることをご確認ください。AP アイソレーションがオンになっている場合は、オフにしてもう一度 Google Home アプリによる設定を行ってください。 Wi-Fi 親機の UPnP が有効になっていることをご確認ください。UPnP が無効になっている場合は、有効にしてもう一度 Google Home アプリによる設定を行ってください。
Bluetooth でペアリングできない。	お手持ちのデバイスが本機と対応しているかどうかご確認ください。 別のデバイスと接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶しています。音楽を再生したいデバイスを再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth デバイスをすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

## 主な仕様

	LINK10	LINK20
使用ユニット	45mm 径フルレンジドライバー x 2	50mm 径フルレンジドライバー x 2
最大出力	8W x 2	10W x 2
周波数特性	65Hz ~ 20kHz	
入力	Wi-Fi、Bluetooth	
Bluetooth	バージョン: Bluetooth4.2	
電池	リチウムイオン充電電池	
充電時間※	約 4 時間	約 4.5 時間
連続再生時間※	約 5 時間 (音量レベルや再生内容により異なります)	約 10 時間 (音量レベルや再生内容により異なります)
サイズ	高さ 169mm x 幅 86mm x 奥行 86mm	高さ 210mm x 幅 93mm x 奥行 93mm
質量	約 710g	約 950g

※・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

## ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

## ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

## ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

## ▶ 製品に関するお問い合わせ

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30

 **Bluetooth®**



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- "Google"、"Chromecast" および Chromecast ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- "Spotify" および "Spotify" ロゴは Spotify グループの商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

**HARMAN**

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

11174000